

## 研修会等報告(復命)書

三次市議会議長 様

真正会  
助木達夫



下記のとおり、研修等が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視察議員	真正会 助木達夫 杉原利明 澤井信秀 鈴木深由希 齊木亨 横光春市			
期 間	平成29年7月26日(水) 14:00～16:30			
研 修 先	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター			
研 修 用 務	地方議会研究会が主催する講座で公共施設の考え方と先進事例に学ぶ			
研 修 講 師	地方議会研究会 講師 森 裕之			
概 要	<p>(1) 公共施設の再編問題とコンパクトシティー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小さな拠点」コンパクトシティーは、いずれも人口の中心部への集約化</li> <li>・その手段として、公共施設の再編・統廃合が用いられている。</li> <li>・富山市は先行事例として、よく取り上げられている。</li> <li>・富山市の各地域の人口増減をみると、中心部ほど人口は増加し、周辺部は減少している。……私としては問題視したい。</li> </ul> <p>(2) 公共施設再編の先進自治体の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の再編パターン4点を示して説明あり</li> <li>①公共施設マネジメントの策定を優先した自治体 統廃合＝相模原市、秦野氏 長寿命化＝堺市</li> <li>②公共施設マネジメントの実行力を最優先の自治体＝浜松市</li> <li>③公共施設再編における住民参加の実践の自治体＝さいたま市</li> <li>④公共施設マネジメントを地域に委ねる自治体＝飯田市</li> <li>・講師の思惑は、公共施設を地域にゆだねる自治体・飯田市の取組を評価していた。</li> <li>・公共施設の運営管理を考えると、運営コスト(維持管理費、事業運営費、指定管理費及び人件費)の市の負担分が、歳出額の何%にあたり、何処までなら対応出来るのか？老朽化に伴う大規模改修と更新の費用負担を念頭に考える。</li> </ul>			

【公共施設等の再編の視座】

\* 公共施設のマネジメント

人口動態や財政状況の観点から、行政効率的な公共施設の再編・運営を進める。

\* 地域住民の自治計画

公共施設を使う主体である地域住民の暮らしや経済活動の観点から、維持可能な地域社会の持続を見据えた再編・運営を進める。

以上2つの視座を統合して検討しなければならない。

※ 公共施設の「廃止」は「建設」とは比較にならないほどの自治体の力量が必要。

住民自治の発揮はかつてないほど重要な課題となる。「住民参加の責任」「住民同士の融和」「住民の納得」がキーワード。

地方行政、地方議会は地方自治の専門家としての矜持が問われる。

※ ワークショップ

住民参加でワークショップを行った場合、その意見を尊重し、意見を取り入れないと行政に対する不信感が大きくなるので、意見を尊重し取り入れる覚悟は必要である。

ワークショップは30人が限界であるので、その途中、途中で、多くの住民の意見を聞くことが必要。これにより住民声としての正当性を持つことになる。


所

見 ・市の財政を考えると、公共施設を維持し運営コストは考慮する必要があるが、むやみに削減することは、過疎地域に住民の負担や一層の過疎化を進めることにつながるかと考える。

・公共施設を建設したり廃棄したりする場合には、地域住民と良く協議を行い行動を起こすことが必要であると考える。



TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター研修室で

期 間	平成29年7月27日(木) 13:30~14:20	
研 修 先	鎌倉市議会	
研 修 用 務	①男女共同参画プランとその取り組みについて	
視察対応者	議会事務局 沢崎主査 説明者 経営企画部文化人権推進課 青木課長 経営企画部	

鎌倉市役所

**概 要** 【鎌倉市の取組】

- ・昭和61年5月、女性についての庁内連絡組織として「婦人問題行政連絡会」を設置
- ・平成2年12月、女性行政の総合的推進を図るため、庁内組織として市長を本部長とした「女性行政推進本部」を設置。
- ・平成3年4月、教育委員会社会教育課に「女性行政推進本部」を設置し、女性行政への取組をはじめた。
- ・平成3年5月、「かまくら女性会議」を設置し、女性プラン案について検討を始めた。
- ・平成5年3月、「かまくら女性プラン」を策定
- ・平成4年8月から女性問題情報誌「パスポート」を発刊・・・今年度Vol51で廃刊予定

\* 審議会等への女性委員の登用推進目標と実績  
目標値30%

年度	目標値	審議会数	委員数	うち女性委員数	割合
平成8年度	30%	86	856	134	15.7
24年度	30%	65	804	218	27.1
25年度	30%	63	775	208	26.8
26年度	30%	63	797	202	25.3
27年度	30%	68	827	222	26.8

なぜ、目標値に達成できないのか＝各部局が自分の思いだけで委員を選考  
各部局が、女性の登用を考えて取り組まないと達成できない。

\* 女性管理職の登用については、現管理職は少ないが、係長クラスでは約25%登用されており、将来女性管理職が増加すると考えられる。

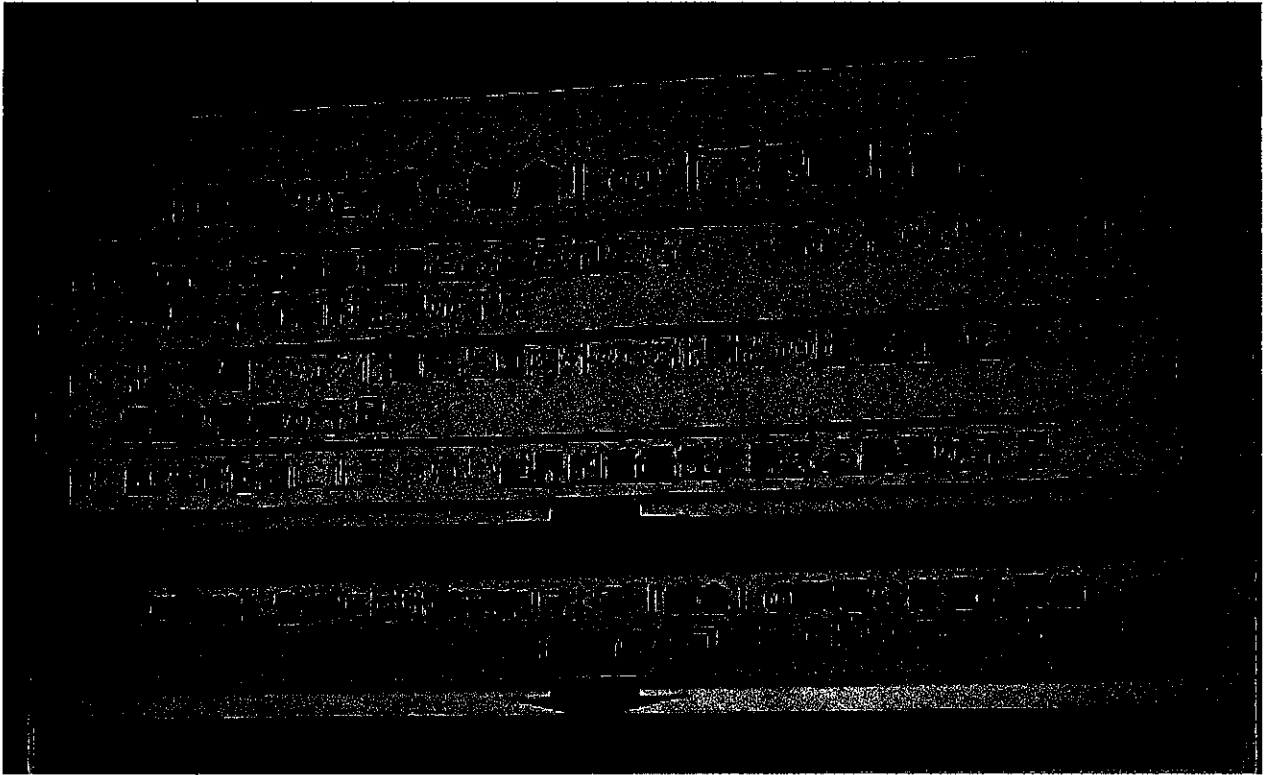
**所 見**

審議会等委員の女性登用については、市長が旗振り役となって、管理職会議で常に言い続けておかないと、目標値は達成できないと考える。

鎌倉区議会で①の研修 ⇒



期 間	平成29年7月27日(木) 14:20～15:30
研 修 先	鎌倉市議会
研 修 用 務	②鎌倉市における日本遺産の取組について
視察対応者	議会事務局 沢崎主査 説明者 歴史まちづくり推進担当課 不破課長 歴史まちづくり推進担当課 高橋主査
概 要	<p>* 日本遺産とは</p> <p>日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもので、平成27年度から始まった。</p> <p>日本遺産は、ストーリーを語る上で欠かせない有形・無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外へ戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることが目的。</p> <p>* 世界遺産は</p> <p>世界遺産は、文化財などの世界的な価値を証明し「保存」していくことを重視</p> <p>* 従来の文化財行政は、此処の遺産を点としてとらえ、指定や保存に重点を置いた施策で有り、十分にその魅力が伝わらなかった。日本遺産として認定することは、点在する遺産を面としてとらえ「活用」「発信」することにより、地域に活力を与える。</p> <p>* 認定されたストーリー「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイクのまちへ～</p> <p>認定申請にあたり、当初、最初に武家社会をつくった源頼朝の歴史から「武家の古都かまくら」としていたが、このネーミングでは、武家屋敷のある鎌倉を連想させるが、武家屋敷はなく、ネーミングと合わない点から、①鎌倉幕府の成立、②鎌倉観光の先駆け、③別荘地鎌倉、④鎌倉文士、⑤歴史と文化が描くモザイク画、という</p>
所 見	<p>日本遺産認定の取組には次のことを考えていかななくてはならない。</p> <p>①ストーリーが出来ているか。</p> <p>②短い文で、日本遺産に結びつけるイメージを第三者に与えることができるか</p> <p>③認定に向けて、地域全体が取り組んでいけるか。</p> <p>④日本遺産の認定に至るまでにも、一体性を持って取組、その後も活性化に向けた活動が展開できるか。</p> <p>⑤認定に向けて、何と何の遺産を結びつけていけるか。それが面としてとらえることができるか。</p> <p>など</p>



← 鎌倉区議会で②の研修

期 間	平成29年7月27日(木) 15:30~16:20
研 修 先	鎌倉市議会
研 修 用 務	③鎌倉歴史文化交流館見学
視察対応者	学芸員 高橋真作氏
概 要	<p>鎌倉には、世界に誇る貴重な歴史的・文化的遺産が、現代まで豊富に受け継がれている。このれらを守り、确实の後世に伝えるためには、鎌倉に住む人、訪れる人がその価値や魅力をすることが大切で、その積み重なりこそが、鎌倉らしい魅力的なまちづくりの礎となる。</p> <p>このため鎌倉市では、鎌倉の歴史的・文化的遺産に理解を深めるとともに、市民の方々の交流を促進するため、平成29年5月に「鎌倉歴史文化交流館」を開館した。</p> <p>詳細は次ページの写真内に説明されている。</p>

所

見

鎌倉歴史文化交流館は、大理石をふんだんに使用した建物で、交流館に適した建物とも言える。

文化遺産を後世に残す取組は、先人の歩んできた人人に思いをはせ、大切にすることが行政にあると思われる。日本遺産認定に至る活動と併せて考えるに、歴史文化を非常に大切にするとともに、それをもとに新しい文化を育てているかのようにも見える。行政として素晴らしい取組似見える。

歴史文化を大切にすることは、あわせてその活動は地域づくりに向かって進んでいる。

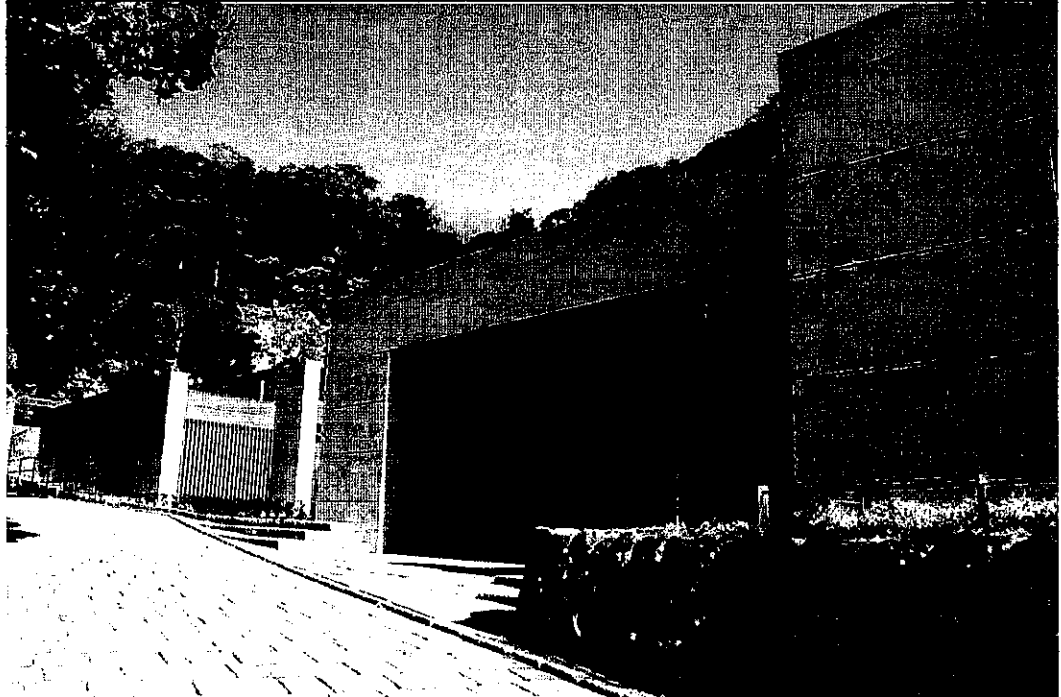
三次市で、どのような取組が出来るのか。真正会としても政策として取り組む必要がある。



鎌倉歴史文化交流館の前で

# 鎌倉歴史文化交流館

Kamakura Museum of History and Culture



# 鎌倉歴史文化交流館

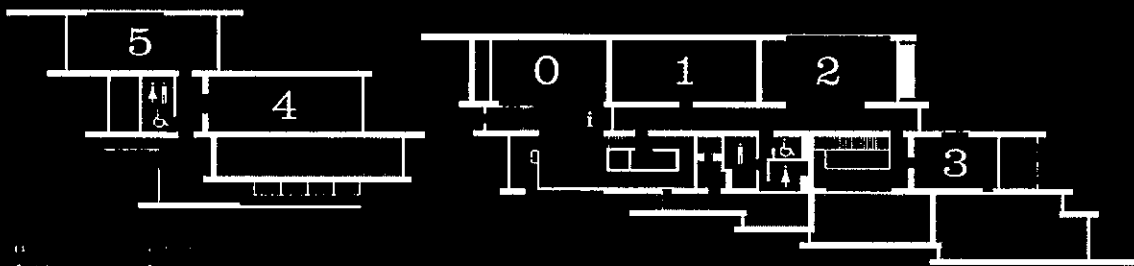
## Kamakura Museum of History and Culture

鎌倉には、世界に誇る貴重な歴史的・文化的遺産が、現代まで豊富に引き継がれています。これらを守り、後世へ伝えるためには、鎌倉に住む人、訪れる人がその価値や魅力を理解することが大切です。その積み重ねが、鎌倉らしい魅力的なまちづくりの礎となります。このため鎌倉市は、鎌倉の歴史的・文化的遺産に対する理解を深めるとともに、市民の方々の交流を促進するため、平成29年5月、「鎌倉歴史文化交流館」を開館しました。

展示施設としてオープンした館内では、鎌倉の歴史・文化を過史的に紹介し、あわせて鎌倉と関連された出土遺物などを公開しています。また、皆さまに広くご利用いただける施設となります。さまざまな教育普及事業や交流事業を開催していく予定です。

開館にあたっては、イギリスの著名な建築家ノーマン・フォスター氏が代表を務めるフォスター・パートナーズ設計の既存建物を活用しながら、そのデザインに配慮した改修工事を行いました。また開館後住み手に立ち寄り、ご協力、整備にあたっては関係の市民の皆様にも多大なご理解と協力をいただきました。

今後周囲の環境の維持に努めるとともに、鎌倉の魅力を広く発信するため、取り組みを進めてまいります。



別館

本館

当館の建物を設計したのは、イギリスの著名な建築家ノーマン・フォスター氏が設立し、現在代表を務めるフォスター・パートナーズです。

フォスター氏は、香港上海銀行本店(1986年)をはじめとする先進的な建築で名声を獲得し、その後も常に世界の建築界をリードしてきました。現在も、アップル社の新社屋をはじめ、世界中で大規模建築や都市計画を手掛けています。

当館の建物は、個人用住宅「Kamakura House」として、2004年に竣工しました。中世以来の土地の米屋をふまえながら、日本人の価値観に合わせた「自然と人工との調和」に意を注いだ建築空間となっています。

平行構造の壁に仕切られた内部空間は、奥へ進むにつれて外部風景を取り込み、「暗」から「明」へと移行していきます。一部に光ファイバーが組み込まれた人造大理石や、廃テレビ管を利用したガラスブロックなど、特殊な素材も随所に使用されています。



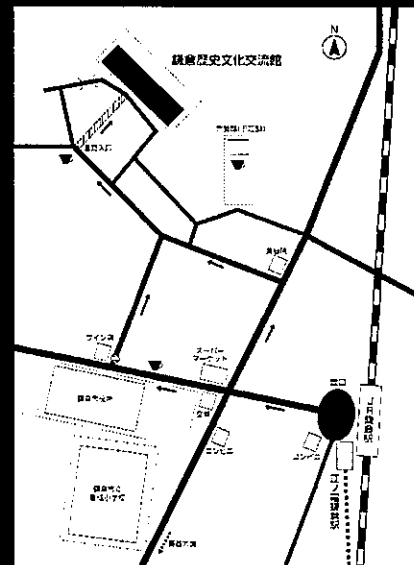
ノーマン・フォスター氏(左側)  
Lord Norman Foster, Photo/Resent Aranda




【香港】上海銀行本店(1986-1988年)  
香港, Hongkong & Shanghai Bank  
(Photo/Architectural Digest)



【Kamakura House】1997-2004年、鎌倉市、日本  
Kamakura, Japan, Photo/Neil Young/Foster+Partners



■ 本館の住所：〒242-0292 鎌倉市大町1-1-1  
 ■ 本館の電話：0467-52-1111  
 ■ 本館のウェブサイト：http://www.kamakura-museum.jp

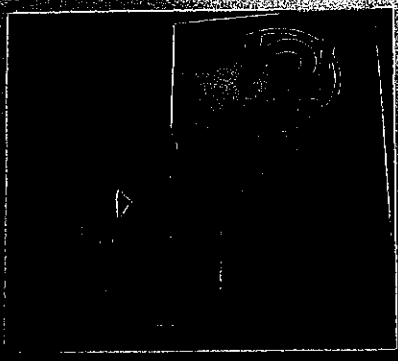
期 間	平成29年7月28日(金) 11:00~12:00
研 修 先	品川区議会
研 修 用 務	「わ！しながわ魅力発信事業」について
視察対応者	議会事務局 企画部 報道・プロモーション担当課長 木村浩一氏 企画部 広報広聴課 シティプロモーション担当主査 羽鳥匡彦氏
概 要	<p>【最初に】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>品川区民の9割は、引き続いて品川区へ住み続けたいと考えている。それは、買い物、子育て、交通の利便性等々……住みやすさを実感している。</li> <li>品川区から広島行き夜行バス…発着点でもある。</li> </ul> <p>【わ！しながわ魅力発信事業】</p> <p>「わ！しながわ魅力発信事業は、「わ！しながわ」を合い言葉に、伝統が息づく暮らしと、都心の魅力が共存する品川区の魅力発信につながる区民、団体等の取り組みに経費助成を等の支援を行うことで、民間ならではの視点と手法で「わ！」と驚く様々な品川区の魅力を区内外に発信していく事業である。</p> <p>品川区の魅力を発信する動画では、「自分の心を動かさない女性「不動麗子」を主人公として、商店街を歩き、魅力あるものに「心」を動かされる短編の動画を作成している。</p>
	<p>27年度～28年度 事業費の1/2 助成限度額 100万円から150万円 29年度 事業費の1/2 助成限度額 50万円</p> <p>* 品川区では、政策課題研修で研修することを所管・各部局へ呼びかけている。従前は、研修を重ね成果発表のみで終了していたが、今回は、それを事業として取り組むこととした。それが、「わ！しながわ魅力発信事業」である。</p> <p>事業を展開する上で、民間の方々に助成金をだして魅力アップを図ったのは、区役所の職員より民間の人が、制作力があると考えたからである。</p> <p>また、助成金を100万から50万円に減額したのは、各種イベントに対する助成金に見られる面もあり、イベントの数を少なくし、独自の発想によるPRが多くなるようにとの思いで、29年度の事業とした。</p> <p>議会にもこの事業の関心は高く、効果や検証のどのようになっているか等の質問も多く寄せられる。</p>
タブレットで動画を！	



平成28年度品川区世論調査で  
品川區に住みたい」と回答した人に  
その理由は？

%!

品川區の暮らしやすさ、おす  
まじさ、自然環境など  
「愛情・共感」しませんか？



品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區の魅力を  
発信しましょう!



品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。

品川區民の暮らしやすさ、おすまじさ、自然環境など「愛情・共感」を伝えるために、品川區民の声を聴き、品川區民の気持ちを大切にしています。



品川区議会で研修



品川区議会棟の前で